

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

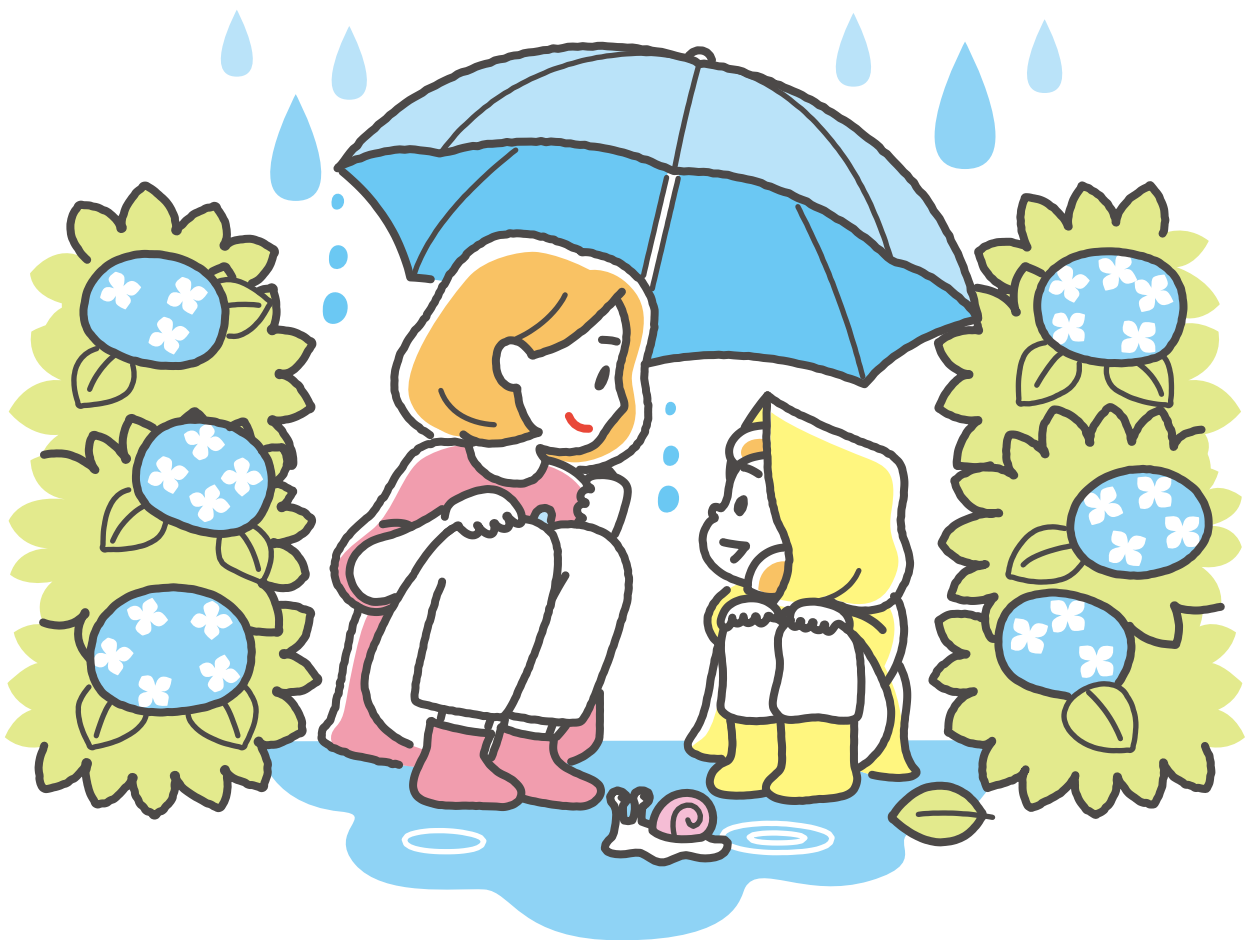
vol. 138 2022年 6月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

愛着障がい（アタッチメント障がい）

～まだ結べていない愛情の絆～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



特集

愛着障がい（アタッチメント障がい） ～まだ結べていない愛情の絆～

愛着障がい（アタッチメント障がい）とは、幼少期に、養育者との適切な愛着関係が形成されなかったことによる障がいの総称です。養育者との信頼関係が獲得できないまま成長することで、対人関係がうまくいかなかったり、心が不安定になりがちであったり、大人になっても社会生活に問題を抱えやすくなると言われています。

医学や心理学で、愛着にはさまざまな定義や考え方がありますが、今号では、この分野の専門家や福祉・教育現場の方々からお話をお聞きし、愛着障がいについて理解を深め、私たちにどのような支援ができるかを考えてみたいと思います。

行き場のない不安やストレス

近年、教育、保育・福祉、育児の現場で、子どものさまざまな行動に問題があり、対応、支援、指導に困難が生じる「気になる子ども」が増えてきています。例えば「言うことを聞かないのに、要求ばかりする」「してはいけないと注意すると、余計に問題行動を増やす」「突然暴れだし、押さえてもおさまらない」などです。

こうした子どもたちの行動の原因を理解する視点の一つに、愛着（アタッチメント）があります。

愛着が最初に形成されるのは、赤ちゃんの時。欲求を訴え、それが満たされることの繰り返しで、心理的な信頼関係や愛情、絆が芽生えて愛着がつくられていきます。成長とともに周りの人との関わりを通して、愛着を獲得しながら、その後の情緒的、認知的、行動的、社会的発達が進んでいきます。しかし、愛着に問題があれば、子どもは安心できず、

行き場のない不安やストレスを抱え、前述のような問題行動を引き起こしてしまうのです。

親の愛情不足が原因ではない

「愛着形成に問題がある」というと、「親の愛情が足りない」かのように聞こえてしまいがちですが、それは誤解です。なぜなら、愛着障がいは、関係性の問題だからです。同じ育て方をして、子どもの特性によって、現れ方は異なります。親がどれだけ愛情を注いで育てても、子どもの愛着に課題が生じることはあります。大切なのは、「何をしたか」ではなく、子どもに「どう受け止められたか」です。

また、行動が発達障がいと似ている

ために、発達障がいと混同されることも多いので、支援には注意が必要です。

愛着の絆を結ぶチャンス逃さないで

テレビ、ゲーム、インターネットなどの普及に伴い、子どもたちは単純で刺激的な快感を享受しやすくなりましたが、その分、愛着の絆を結ぶチャンスが減ってきたのではないのでしょうか。愛着という絆は、誰とでも結ぶことができます。保育や教育、福祉の現場、あるいは子ども食堂など地域活動で気になる子どもがいれば、一度、愛着の視点で捉え直してみてもどうでしょうか。

次ページより、愛着の視点を活かした保育・教育を実践している保育園、小学校にお話をお聞きしています。



子どもの頃の愛着形成は ひきこもりの予防にもつながる

社会福祉法人つむぎ福祉会 千代崎ポプラ保育園 園長 松枝 順司氏



自分のことを見てほしい

集団の中で、物を振り回したり、声を荒らげたり、周りと異なった行動を起こすものの、知的障がいや発達障がいではない、気になる子が保育の現場で増えています。このような子どもたちの行動を愛着（アタッチメント）の観点で捉え直すと「これまでの行為はみな『自分のことを見てほしい』気持ちを訴える姿だったことに気がつきました」と話すのは千代崎ポプラ保育園・園長の松枝順司さん。

「友だち同士では問題なく過ごしているのに、集団に入ると自分の居場所がなくなるようで不安になるのでしょうか。自然とひとりだけ皆と異なる行動をし、注意をひきつけ、相手の反応で自分との関係性を確認する、いわゆる試し行動をしてきます。対応としては、頭ごなしに怒らず『どうしたんや』と話を聞きます。愛着障がいのある子どもには、普段から『ちゃんと見てるで』と感じてもらい、余裕を持って接することが大切です」

同法人は、1980年代、若者の自立支援が活動の出発点だったこともあり、「不登校やひきこもりにならないようにするには、子どもの頃からの適切な支援が重要」と考えたことも、保育園を設立した理由のひとつだそうです。

保護者と保育園の二人三脚

子どもの愛着形成には、親の愛情を子どもが心地よく感じている必要があります。しかし、今の時代の親は総じて

忙しく、さまざまな家庭環境がある中では、親が子どもとじっくり向き合う余裕がありません。

「仕事が終わりに、お迎えにきたお母さんが『さっさと準備しなさい』と子どもさんを急かしている光景を見かけます。そんなときは、『ゆっくりでいいですよ。自分で靴が履けるようになったので見てあげてくださいね』と伝えています。親御さんが少しでも心に余裕をもち、注意を払ってくださることで、子どもは安心することができます」

同保育園では、子どもを真ん中に、保護者と保育園、双方が子どもにとって最も適切な方法を話し合い、家庭だけでは足りない愛着の部分の補いながら、保護者と二人三脚で子どもを育てていくことを実践しています。

社会全体で育てる意識への転換

「愛着障がいのある児童のケースを振り返ってみると、その家庭だけでは解決できない課題が見え隠れしています。それを考えると、社会全体で子どもを育てるという意識への転換が必要なのではないでしょうか。例えば、子どものために仕事を休むことに、保護者が後ろめたさを感じるような社会ではダメだと思います。もっと、子どもと一緒に居られる時間を容認されるような社会でなければなりません」

また、発達障がいや愛着障がいのある子どもが増えている中、一人ひとりに寄り添うことが求められていますが、現

实的には難しいと話します。

「愛着障がいという問題は昔から存在していたかもしれませんが、こんな時代だからこそクローズアップされるのかもしれません。ならば、今の時代に合った合理的配慮をするために法整備を行うのは必然です。4～5歳児の30人の子どもに対し、先生が1人という今の大阪市の配置基準では全体を見るだけで精一杯。戦後にできた児童福祉法を見直し、今の時代に合った保育施設の人員配置や保育園の役割を見直さなければなりません。2023年4月より新設される「子ども家庭庁」が、大人の目から見た環境や制度の整備でなく、『子どもが望んでいる』ものを支援する組織として、『今の子どもたち』に合わせた、保育現場が納得できる政策をとることに期待しています」



「愛着」の視点を採り入れたら、 私たちの気持ちも楽になりました

大阪市立塩草立葉小学校 校長 竹内 幸延氏



▲チームで毎日、情報交換。
左から、教務主任の大島さん、竹内さん、教頭の谷山さん、人権教育担当の西川さん

エスカレートする暴力に 疲弊して

塩草立葉小学校校長の竹内幸延さんが、愛着に着目したきっかけは、数年前のこと。

「しんどい子どもたちが、『死ね』『殺す』などの暴言を吐いて暴れ回り、注意すればするほどエスカレートしていた時期がありました。どう対応したらいいかわからず、わらにもすがりたい気持ちだったときに、出会ったのが愛着という視点でした」

竹内さんは「これだ!」と確信し、数少ない愛着障がい専門家、和歌山大学米澤教授(P.4参照)を学校に招き、現状について相談しました。

「米澤先生は、たまたま通りかかったしんどい子の様子を愛着の視点で読み解かれ、短時間で的確な見立てをし、支援方法を教えてくださいました。まさ

に目から鱗でした」

それから竹内さんは、年に数回、校内で愛着をテーマとした研修を開催するだけでなく、2020年2月には、市内の小学校教育研究会総合研究発表会で、生活指導の部長として講演会を企画し、約500名の参加者に愛着の視点を持つことの大切さを広めました。

「あかん」は絶対あかん

「今でこそ笑って話せますが、当時、校長室の壁は靴跡だらけ、椅子は壊され、先生方は落ち込まれ、ひどく疲れていました。ところが、愛着を学び、私達の捉え方や接し方が変わると、しだいに子どもたちの様子も落ち着いてきたんです」

教職員は、暴力をふるったとき、これまでなら「あかん!なんでそんなことしたんや」と子どもの間違った行動を真正面から正そうとしていました。それ

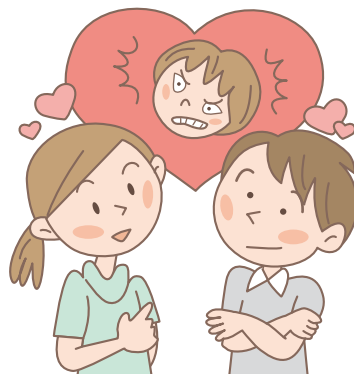
を、真正面ではなく、子どもの横に立つようなイメージで関わると、受け流しができるようになったのです。

「私も『じい、死ね』といわれたとき、怒らずに『じい、ほんまやし、たぶん君より先に死ぬやろし、ええやん』とっています。問題行動については『悔しかったんやね』などと相手の気持ちを言語化して返すことで、反発することが減りました。愛着が原因であること、対処法を知ること、私達の気持ちもずいぶん楽になり、本当に良かったと思っています」

学校や地域に 安心できる場所を

同小学校では、多くの目で子どもたちを見守るために、チームを結成し、毎日情報交換して、「あの子は元気なさそうやった」など子どもの様子を担任に伝えています。教職員の間で、子どもたちの名前が行き交うような風通しのいい学校を目指しているそうです。

「今の時代、子どもたちはみな忙しく、簡単にゲームやスマホから刺激が得られ、安心できる場所がづくりにくいといえます。だからこそ、保健室の先生、スクールカウンセラーなど学校内にとどまらず、区役所の子育て支援室、放課後デイサービス、民生委員などともつながり、学校や地域に、子どもたちにとって安心を感じられる場所を創り出せたらいいですね」



「愛着」の視点を持てば、 行動の原因がみえてくる

和歌山大学教育学部 教授 米澤 好史氏



いつからでも、誰とでも

愛着の定義は、一般的に「特定の人と結ぶ情緒的なこころの絆」とされています。この絆が誰とも結べていない状態を“愛着障がい”といいます。

私は、保育・教育・福祉等の現場に足を運ぶ中で、愛着の問題を抱える子どもが増えていることを実感しています。その背景には、愛着障がいの共通理解がなく適切な支援が行われていない現状があります。

「親の責任」、「生後1～2年で形成されなければ手遅れ」、「虐待を受けた場合だけにみられる」は、全て誤解です。愛着を結ぶのは親とは限らず、多くの人と関わりながら発達するものです。つまり、いつからでも、誰とでも、愛着は形成・修復できるのです。

成長の基盤をつくる 3つの基地機能

愛着を形成するには、「安全基地機能」「安心基地機能」「探索基地機能」という3つの基地機能が必要です。

安全基地機能は、恐怖や不安、怒りなどネガティブな感情から自分を守るための機能です。この機能が働かず、「誰も守ってくれない」と感じている子どもは、大切な物事と向き合えず、避けるような態度をとってしまいます。

安心基地機能は、落ち着く、ホッとする、楽しいなどポジティブな感情を育む機能です。子どもが安心できることの心地よさを感じることが重要で、いくら愛情を注いでも、子どもがポジティブに感じなければ安心基地にはなりません。

探索基地機能は、子どもが安心して分離できる、自立を促す積極的な機能

です。一旦基地を離れて活動し、戻ってきた時、子どもが経験や気持ちを報告し、それを探索基地を担う人と共有することです。これにより、一人で経験した時のポジティブな感情は増大し、ネガティブな感情は減少します。

これらの3つの基地ができていない場合、人間関係のトラブルや集団適応の問題、規範行動からの逸脱、攻撃性が生じる場合があります。

愛着障がいの現れ方に 合わせた支援

愛着障がいの現れ方は、次の3つに大別することができます。

1つ目は、自己評価が低く、意欲がない。「どうせできない」という無力感があるため、とりわけ学習指導には困難をきたします。こうした子に対しては、何か一緒にやってみることが大切です。「ちょっとそれ取って」など簡単なことを頼みながら巻き込んでいく。自分が役に立った、喜ばれた経験は、意欲づくりの最初のステップになります。

2つ目は、愛情欲求が強い。欲しがるものを与えても満足せず、要求はエスカレートします。このような場合は、要求を先読みして叶えてあげることです。要求された後だと、やっても100%になりませんが、先手をとっておくとやめるタイミングを決めることができます。誰かれ問わず愛情を求め、身体接触を好む子も強い愛情欲求に起因します。

3つ目は、自己防衛が強い。証拠があっても否を認めません。自分を守ろうとして嘘や責任転嫁がみられます。そういう子に対しては、真正面から否定するのではなく、子どもの横に立って「こんな気持ちでやってしまったのか

な」と子どもの世界から理解することが大切です。

発達障がいは一定、 愛着障がいはムラ

愛着障がいと発達障がいとの混同も現場で見られます。行動だけを見ると類似していますが、大きくは、行動にムラがあるかどうかで判断します。発達障がいは先天的な脳機能障がいであり、ADHD(注意欠陥多動性障がい)は「行動」の問題、ASD(自閉症スペクトラム障がい)は「認知」の問題であるため、現れ方は常に一定しています。これに対し愛着障がいは、子どもと関わる特定のひととの後天的な関係性の障がいであり「感情」の問題なので、感情に左右され、行動にムラがあるのです。

例えば、ADHDはいつでも多動ですが、愛着障がいの場合は、気分次第で多動になります。同様に、ASDは自分のこだわりのことをいつもやっていますが、愛着障がいは、好き嫌いや気分ですりやることが変わります。

人は一人では生きていけない

人は誰しも、愛着の問題を少しずつ持っています。それでも、生活の中にある安全・安心・探索基地に助けられ、その存在を自分の生きるエネルギーとして意識できるため、いろんな経験を乗り越えていくことができるのです。

対人援助の専門職だけでなく、「気持ちをわかり合える存在になろう」と思う人が増え、いい形の心のやりとりができれば、地域はもっと暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

令和2年度から大阪市モデル事業「介護の職場 担い手創出事業」として、施設において介護職員が行う幅広い業務を整理したうえで、直接介助に携わらない業務を担う「アシスタントワーカー」を新しく導入する仕組みづくりを行ってきました。

今年度からは、新たに「アシスタントワーカー導入等による福祉・介護人材支援事業」として、本格的に事業をスタートすることになりました。

令和4年度は新しく3つの施設が参画し、アシスタントワーカーの導入に向けて、受入れ体制の整備を行っていきます。具

体的には、アドバイザーによる個別支援や集合研修を通じて、アシスタントワーカー導入の目的を明確にしたあと、実際に業務の仕分けやマニュアルの作成、OJT(職場内で行う教育・指導)の仕組みづくりなどに取り組んでいきます。

また、令和2年度、3年度のモデル事業所9施設と、今年度新しく参画する3施設で構成される“メンバー施設会議”を開催し、より多くの市民の方々にアシスタントワーカーについて知っていただくために、情報発信の方法等について意見交換を行いながら、積極的な周知活動を行っていきます。

令和4年度 アシスタントワーカー導入取組み施設

社会福祉法人 亀望会

特別養護老人ホーム
江之子島コスモス苑



〒550-0006
大阪市西区江之子島1-8-44
☎06-6225-2662
FAX06-6225-2663



社会福祉法人 今川学園

障がい者支援施設
今林の里



〒546-0001
大阪市東住吉区
今林3-1-87
☎06-6791-1211 FAX06-6791-5700



公益財団法人 淀川勤労者厚生協会

介護老人保健施設
よどの里



〒555-0033
大阪市西淀川区姫島2-13-20
☎06-6473-5152
FAX06-6473-0151



地域生活向上教室

大阪市では、統合失調症等の精神疾患のある方を対象に、基本的な生活習慣を整え、社会生活に必要な健康管理やコミュニケーションのスキルを身につけ、地域で自分らしく安定した生活ができることを目的とした「地域生活向上教室」を実施しています。

体力をつけたり
生活リズムを
整えたい!

気持ちや考えを
上手に伝えられる
ように練習したい!



人と関わるのが苦手…
安心して行ける場が
ほしい!

【対象者】

統合失調症等の精神疾患がある方

【実施場所・実施日時】

お住いの区保健福祉センターで月1回実施

※実施日は各区にお問い合わせください

【内容(プログラム)】

運動、手工芸、レクリエーション、生活技能訓練(SST)等

※お住いの区によって内容は異なります

無料

ぜひご参加ください! 見学からでもOKです!

各区保健福祉センター連絡先(お申込み・お問い合わせ)

[06-●●●●-9968] ●●●●の部分にお住いの区の4ケタ番号を入れておかけください。

区名	局番	区名	局番	区名	局番	区名	局番	区名	局番	区名	局番
北	6313	中央	6267	天王寺	6774	東淀川	4809	城東	6930	住吉	6694
都島	6882	西	6532	浪速	6647	東成	6977	鶴見	6915	東住吉	4399
福島	6464	港	6576	西淀川	6478	生野	6715	阿倍野	6622	平野	4302
此花	6466	大正	4394	淀川	6308	旭	6957	住之江	6682	西成	6659

受付時間▶平日9:00~17:30 土・日・祝日、年末年始は休み

〈ご注意〉◆新型コロナウイルス感染症拡大等により中止する場合があります。事前にお問い合わせください。

福祉・介護のお仕事をされている方へ

福祉・介護のお仕事の
やりがいや魅力を伝える
エピソード募集!

みおつくし
福祉・介護の仕事
きらめき大賞
2022



募集内容 福祉・介護の現場における利用者やその家族等との関わり、職員同士の連携など、福祉・介護の仕事の魅力が伝わるエピソード

募集期間 令和4年5月17日(火)~7月12日(火)

応募資格 高齢者、障がい児・者を支援する施設・事業所または児童入所施設において、利用者支援を行う(行っていた)職員

応募方法 所定の応募用紙(ホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、メールまたは郵送にて提出してください。

応募されたエピソードの中から優秀事例を表彰し、福祉・介護の仕事のイメージアップに活用する予定です。

OSAKA CITY 大阪市 × Anime 大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校

本イラストは、きらめき大賞の受賞作品をもとに、大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校の生徒さんにより制作されたものです

募集に関する詳細は、大阪市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000558463.html>



同心会が「研究奨励賞」・「研究努力賞」・「会長賞」を授与

同心会(会長 右田紀久恵:大阪府立大学名誉教授)では、大阪市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「大阪市社会福祉研究第44号」の掲載論文から、特にその内容が優秀と認められたものに対して、3月29日(火)、大阪市社会福祉研修・情報センターにおいて「研究奨励賞」「研究努力賞」「会長賞」を授与しました。

第44号 受賞論文

■研究奨励賞

「児童福祉施設内児童間性問題に対する職員への再発防止支援」 高下 洋之

■研究努力賞

「地域活動を支える専門職の役割~学び合い助け合うマンションコミュニティ~」 佐々木 さやか/忌部 周
「障害者スポーツを取り入れた小中学校向け障害理解教育の効果~質的データを用いた事業評価の試み~」 山脇 功次/修田 翔/由浅 悠

■会長賞

「福祉サービス事業者による支援の質の向上に関する研究ノート~福祉ビジネスから真の社会福祉事業へ~」 松藤 栄治



講座案内

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 研修中は常に換気を行うこと
 - 参加者間の距離を1メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
 - 演者等と聴衆との距離を1メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
 - マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
 - 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること
 - 受講者全員に、「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること
- ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。
ご理解いただきますようお願いいたします。

● 福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名		日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
【組織運営・管理研修】	労務管理研修	6月27日(月) 13:30～17:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所の労務管理担当者の方など	社会保険労務士法人 アイアール 樽谷総合事務所 代表 樽谷 かず子	労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用形態における社会保険・労働保険等の労務手続きの基礎について学びます。	定員:36人 締切:6月6日(月) 受講料:1,500円
	ファシリテーション研修	7月26日(火) 10:00～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する方	Felien(フェリアン) 副所長 津村 薫	意見が出ない、論点がずれる、いつも同じ人ばかりが発言する、何も決まらず時間だけ費やすというような非効率で成果のない会議を改善するため、場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学びます。	定員:36人 締切:6月27日(月) 受講料:3,000円
【介護職員研修】	利用者に寄り添う看取りと尊厳とは	7月14日(木) 13:30～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所で介護に従事する方	浄土宗願生寺 住職 大河内 大博	忘れてはならない利用者一人ひとりの「尊厳」。その重要性は理解できていても、日々の業務が多忙で振り返る機会が少ないのではないのでしょうか。 人と向き合うことの大切さ、利用者の思いに寄り添うことの重要性を一緒に考えることにより、介護の質的向上を目指します。	定員:30人 (先着順) 締切:6月24日(金) 受講料:1,500円
【多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて】	社会福祉施設職員の地域福祉実践講座	7月26日(火) 13:00～17:00 9月6日(火) 10:00～17:00 令和5年 2月14日(火) 10:00～17:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所・社会福祉協議会に勤務し地域福祉実践への意欲がある方	大阪教育大学 特任教授 新崎 国広	社会福祉施設職員の日々の実践を地域福祉という観点から振り返り、その実践が豊かになるような具体的手法について、講師と受講者が共に考え、学ぶ、ゼミナール形式の講座です。	定員:10人 締切:7月5日(火) 受講料:7,500円

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

● 福祉従事者向け研修の申込み方法 ▶ 当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

認知症plus終末期ケアとACP 10の事例から考える
「その人らしい」最期の支え方 (認知症plusシリーズ)

山川 みやえ ほか 編集
日本看護協会出版会 2021年

診断から人生の終わりまで、認知症をもつ人や家族をどう支援していくのか。認知症者の終末期ケアに取り組んだ10の事例から、病院・在宅・施設などで奮闘するケア提供者たちの実践とその工夫を紹介。



介護職のためのパッと見(徴候)
でわかる利用者の異変

松山 尚弘 著
中央法規出版 2022年

ささいな異変は重大なサイン。日中・夜間を問わず介護現場で遭遇する「徴候」を集め、災害発生時でよく使われる「トリアージ」の考え方をういて、重症度別に対応や見方を解説。



中小企業のパワハラ対策はこう実践する
すべての企業で対応義務化!

加藤 貴之 著
日本法令 2022年

2020年6月から大企業を対象にスタートしたパワハラ防止法。2022年4月からは中小企業にも対象が広がる。本書では、厚労省のパワハラ防止指針等をベースに、中小企業における防止対策の実践的取り組み手法を解説。



発達障がい児支援がワンランクアップする315の工夫
児童・放デイの現場で実践されている
子ども視点の対応策

発達支援研究所 監修
合同出版 2022年

全国の児童発達支援・放課後等デイサービスから寄せられた5千以上のサポート事例から、315の支援方法を厳選して紹介する。学習・コミュニケーション・感情のコントロールなどを解説。



DVD紹介

幸福は日々の中に。

silent voice 120分 2020年

知的障がい者のケアや支援だけでなく、工房やアトリエなど、ものづくりに没頭できる環境も整っている鹿児島市にある知的障がい者支援施設「しょうぶ学園」の活動を追ったドキュメンタリー。



ばあばは、だいじょうぶ

グローバルジャパン 98分 2020年

小学生の翼は両親と優しい「ばあば」と共に暮らしていた。しかし、認知症を患ったばあばは少しずつ変わり始め…。楠草子の絵本を原作とした、認知症を患った祖母を孫の視点から描いた人間ドラマ。



ミッケルアート 映像版 6~10

BBB 各30分 2020年

「ミッケルアート映像版」は、認知症予防効果に期待が持てるミッケルアート®に、懐かしさを感じる効果音やナレーションによる問いかけを入れたものです。介護者の負担減を重視して製作しており、見る方がお一人でも楽しめます。



「昼休み」



「丸刈り」



「食堂」



「校門前」



「銭湯」

大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。)



●図書・約18,700冊 ●DVD・約1,000本 ●雑誌・約25種類

開室時間／月曜日～土曜日(祝日、年末年始は除く)9:30～17:00

貸出期間／2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



すこやか大阪 21



かしこく食べよう!ゲンキをつくろう!

6月は食育月間です

「朝ごはんを食べよう!」

毎日 朝食を食べて、
必要な栄養・正しい生活リズム・心の健康を手に入れましょう

毎日 朝ごはんを食べることによって

★活動力アップ!

ごはんなどの炭水化物はすぐに消化されてブドウ糖になり、血液に入って全身に行きわたり、脳や筋肉などのエネルギーになります。

★からだの目覚め!

体温が上昇し、体の活動準備ができます。

★集中力アップ!

脳にエネルギー源であるブドウ糖が供給され、動きが活発になり、集中力が高まります。

★体調や生活にリズムを!

体のリズムを整えるためにも、毎朝決まった時間に朝食をとることが大切です。

★肥満予防!

朝食を食べると、昼食や夕食での「まとめ食い」を防ぎ、肥満の予防につながります。

また、一日のスタートである朝食を家族と一緒に食べることで、豊かな心を育てるコミュニケーションを図ることができます。



問合せ▶大阪市健康局健康づくり課 ☎06-6208-9961

あなたのお口は健口(けんこう)ですか?

歯周病は、気付かないうちに徐々に進行していくことから「沈黙の病気」とも言われており、成人期以降に歯を失う一番の原因になっています。また歯周病は、肥満、糖尿病、心疾患、脳梗塞など、全身の健康と関連があることが分かっています。

自分の歯でおいしく食べられることは人生の楽しみのひとつです。歯周病にならないようにするために、定期的に歯周病検診を受けましょう。

■大阪市で受けることができる歯周病検診と相談

●令和4年度歯周病検診(問診・口腔内診査)

対象 40・45・50・55・60・65・70歳
(昭和27・32・37・42・47・52・57年の1/1～
12/31生まれ)の大阪市民
費用 500円
(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)
場所 市内取扱歯科医療機関(要予約)

●歯科健康相談(個別相談)

対象 大阪市民
費用 無料
場所 各区保健福祉
センター



その他にも検診を実施しています

種別 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診・前立腺がん検診・骨粗しょう症検診

問合せ▶大阪市健康局健康づくり課(歯周病検診・歯科健康相談) ☎06-6208-9963
(上記以外のがん検診など) ☎06-6208-9943

今月の自助具／バックル留め補助具

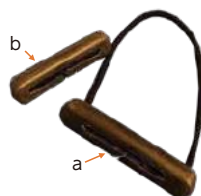
主な適応疾患・対象者▶片手が不自由な人

機能・特徴

●片手の動作で、ウェストバッグを腰に巻き付けてバックルを留めることができる。

使い方

- ウェストバッグを、椅子の背もたれにベルトを広げた状態で置く。
- 手前に腰かけて、利き手で反対側のベルトの先端を体の前に引き出す。
- バックル留め補助具aのゴム輪をつけたベルトの先端を引き出し、ゴム輪を手首に通す。
- 反対側のバックル留め補助具bをつかんで、ゴム輪を滑らせて補助具bにかける。
- バックルをカチッとはめて留める。



バックル留め補助具の取り付けは、利き手側にaを、反対側にbを取り付ける



資料提供・問合せ▶特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎FAX06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

歩く喜びを「歩行車」

狭い場所も小回りがきく
横幅がスリムな歩行車



●シンフォニーSP スリム

横幅約48cmの歩行車。ボディーには傘たてや、収納バッグが付いて機能も充実。ブレーキ操作で両後輪を制御。レバーを握るとブレーキ、押し下げると駐車用ストップがかかります。

抑速ブレーキ内蔵の後輪を
採用した馬蹄型歩行車



●ティコブリトルRF

一定の速度を超えるとブレーキが働き、速度を抑えるため下り坂も安心。切り替え簡単な2wayハンドルは、前腕を預けて歩行する馬蹄型、また、アームレストを上げると通常型として使用できます。

小柄な女性など、幅広く対応する
ロータイプの歩行車



●ヘルシーワンLEGERE(レジュール)

軽くておしゃれな歩行車。コンパクトに収納できるのでバスや電車への持ち込みもラクラクです。前輪にはシングルタイプの楽キャスター(直進・左右15度・左右60度)採用で押しやすく安心。

問合せ

公益社団法人
関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894
http://kansil.jp

大阪市社会福祉研究 第45号 「研究論文」及び「実践報告」募集期間延長

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、大阪市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集しています。

【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
 - ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
 - ③大阪市福祉局・子ども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
 - ④大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者
- ※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究・執筆も可とします。

【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生じる諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与えるものとします。
- ③原稿は、未公開（未発表）のものに限ります。

【原稿字数】

参考文献・図表等も含め、18,400字以内（パソコンで作成された原稿）とします。

【応募方法】

所定の応募用紙により、6月20日（月）までに下記センターへ「応募用紙」をお送りください。原稿の締め切りは7月20日（水）とし、提出論文から編集委員会にて掲載論文を選定し、掲載候補となったものについて、あらためて「執筆依頼」を送付します。



【その他】

- ①「大阪市社会福祉研究」への提出論文については、政治的・宗教的活動に使用しないこととします。
 - ②「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告について審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。
- ※「応募用紙」は、ホームページのお知らせ欄よりダウンロードできます。

●申込先・問合せ先▶

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp 🌐https://www.wel-osaka.com

チラシが作りたい
パンフレットが作りたい
カタログが作りたい
…でも、どうやって作ったらいいの？

それ、アド・エモンに
おまかせください

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを
トータルでカタチにします。
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL: (06) 6358-1010 FAX: (06) 6358-1011 E-mail: info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

〔広告〕



福祉・介護専門職の
キャリアアップをサポート！

福祉・介護職員の
キャリアデザインノート
受講履歴管理手帳

定価
600円（税込）

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています

（内容）

- A4判・リングファイル
- 人生カレンダー
- キャリアデザインシート（ワークシート編）2ページ
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ（受講履歴シート編）9ページ
- ビニールファイル4枚



これ1冊に
受講履歴をファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて保存できます！

発行者：大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター
問合せ・申込み先：☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272
✉kensyu@shakyo-osaka.jp

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで) 図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日)

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。 [ウェルおおさか](#) [検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を変更しています。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	48	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	16	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	24	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	16	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	8	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	72	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけています。ご了承ください。

交通／ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

●大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ

52系統(なんば～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

●地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】子どもをめぐる人権

聞いてくれ 幼い想いも 家庭の叫びも

なかむら たける 中村 丈慧琉さん(令和3年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 優秀賞)